

公共事業事前評価調書(平成 26年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 港湾開発班

事業名	中城湾港(泡瀬地区)港湾改修事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	沖縄市泡瀬地先					
事業の諸元	物揚場(-3m) L=155m、泊地(-3.5)A=7.4ha、泊地(-3)A=2.1ha、ふ頭用地 A=1.0ha、防波堤(南) L=400m、防波堤(北) L=590m、臨港道路泡瀬1号線 L=2,153m					
事業の概要	本事業は、沖縄市を中心とする沖縄本島中部東海岸地域の活性化を図るため、スポーツを中心とした商業や宿泊、海洋レジャーなどを展開するスポーツコンベンション拠点の形成を図るものであり、国・県・沖縄市が協力して取り組んでいる事業である。					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》 泡瀬地区の開発コンセプトである「スポーツコンベンション拠点の形成」のため、海辺のレクリエーション空間の確保が必要であり、海洋レジャーの活動拠点となる旅客船ふ頭及び小型船だまりを整備する必要がある。 あわせて、港湾施設と背後地域を結ぶ臨港道路の整備を行う必要がある。</p> <p>《効果》 遊覧船・遊漁船事業者及びダイビングの利用により、沖縄本島中部東海岸地域の活性化が図られる。</p>					
事業期間	事業採択	平成 26年度	完了(予定)	平成 32年度		
全体事業費	46.8 (億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10	
費用対効果	B/C	総便益: B	94.4 (億円)	総費用: C	39.2 (億円)	基準年
	=	①クルージング機会等増加便益	93.4億円	①建設費 37.2億円		平成25年
	2.4	②残存価値 1.0億円		②管理費 2.0億円		
事業着手の熟度・上位計画との整合性	港湾計画に位置づけられており、また沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「人流・物流を支える港湾の整備」及び、「圏域の特色を活かした産業の振興」に位置付けがある。					
環境への配慮	本事業は、環境影響評価法に基づき環境影響評価を実施しており、工事の実施にあたっては、専門家等により構成される環境監視委員会及び環境保全・創造検討委員会からの指導・助言を受けながら、環境監視や保全対策を実施し、進めていくこととしている。					
関係する地方公共団体等の意見	地元沖縄市や関係団体から早期整備の要請がある。					
概要図(位置図)						